

## 宮城県仙台市で「ひがしどおり観光物産展」を開催！



9月5日から7日にかけて、宮城県仙台市の東北電力グリーンプラザ アクアホールにおいて東北電力(株)青森支店主催、東通村共催で「ひがしどおり観光物産展」が開催されました。

当イベントでは、特産品の販売のみならず、東通村の観光資源であり令和4年12月に国の重要文化財に指定された『尻屋崎灯台』、国の重要無形民俗文化財に指定されている『東通村の能舞』、青森県の天然記念物に指定されている『寒立馬』など、“食”以外の東通村の魅力も来場者に紹介する特設ブースが設置されました。

来場した方は「東通村の“食”が美味しいことと、観光資源が豊かなことが分かりました。ぜひ一度行ってみたいと思いました！」などの感想が聞こえてきました。

これを機に、東通村を少しでも知り、興味を持っていただければ嬉しく思います。

## 戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う ～令和5年度東通村戦没者追悼式～

終戦から78年目を迎え、第70回東通村戦没者追悼式が9月7日、村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で厳かに行われました。

追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼するとともに、併せて、世界の恒久平和を願い行っているものです。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げた後、畑中稔朗村長、川端一松村議会議長の追悼のことばの後、川端孝悦村遺族会長が「戦争によって最愛の肉親を失った私たち遺族にとって、癒されることのない悲しみは、言葉では語り尽くせないほど、深くつらいものであります。再び悲惨な戦禍を繰り返すことなく、世界の平和、命の大切さをしっかりと後世に受け継いでいくため、たゆまぬ努力を続けますことを遺族一同ここにお誓い申し上げます」と追悼のことばを述べました。

その後、参列者一人一人が二百余柱の英霊に白菊の献花を行い戦没者の冥福を祈り、平和を誓いました。



畑中村長の追悼のことば



川端村遺族会長の追悼のことば



献花を行う川端村議会議長